					3 71	カチ木ヽ	<u> イン・ノー</u>		l '		
車数	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	紫タ	卜線照	剝剝	長置整備事業					本年度担当課	水道課
争的	争未有									前年度担当課	水道課
	基本目標	، 05	快適口	こより	り安全で安心して	[暮らせるまちづくり			新規・継続	継続事業	
政策	政策	02	住みり	やすし	ハ快適なまちづく	(1)				実施計画・一般	実計計画事業
体系	施策	02	安全~	で安況	定した水の供給と	生活排水の適	正処理		事	市単独·国県補助	国県補助事業
	基本事業	本事業 01 安全で安心な水道水の安定供給						業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	田		予算事	業名		区	実施方法	一部委託
科目	水道	хх	XX	XX	紫外線照射装置	整備事業			分	事業分類	施設等整備事業
車:	* 計画		#RE	978		車券即間	亚式20年度。	△和10年度		市長公約	該当なし
尹:	事業計画 期間限定複数年度 事業期間 平成20年度 ~ 令和10年度										該当なし
根拠	法令・条件	列等	水道	法							

1. 事務事業の現状把握【DO】

٦	١.	事務事業の現状把握【DO】									
	(1	1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標									
(1)	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
	ſ	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	医実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)		
	ſ	佐野市の水道は、地下水を水源としているが、	閉馬浄水場紫外線照射	寸装置記	设置工	事 (R4.	6∼R5. 2)				
		一部の水源において、クリプトスポリジウム原虫									
		が含まれる可能性を示す指標菌(大腸菌や嫌気性									
		芽胞菌)が検出されており、より安全な給水を確									
		保していくため、浄水場に紫外線照射装置や膜ろ									
		過装置を設置する。									
		平成20年度から令和10年度にかけて、菊川浄水	活動指標		単位	R3年度	R4年度		R6年度	R7年度	
		場・大橋浄水場・多田浄水場・田沼浄水場・閑馬		L 1		(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
		浄水場・野上中浄水場・野上北浄水場・常盤第2	紫外線照射装置等設置数	[[文字]	箇所	4	5	6	1	8	
		浄水場・飛駒浄水場・氷室浄水場・石塚浄水場・									
H	\dashv	常盤第1浄水場に順次設置する。	: :: : : : : : : : : : : : : : : : : : :								
	ŀ	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	אר (איני (אינ (אינ (אינ (איני (אינ () (אינ () () () () () () () () () (D0 /	D4 =====	DC /	D0 +	D7 6- d-	
		クリプトスポリジウム原虫が含まれる可能性を示した。	対象指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		す指標菌(大腸菌や嫌気性芽胞菌)が検出された 浄水場数。	指標菌が検出された浄水	レキロ米ケ	箇所	(実績) 12	(実績) 12	<u>(目標)</u> 12	<u>(目標)</u> 12	<u>(目標)</u> 12	
		冲 小场致。	相保困が快山された津川		固別	12	12	12	12	12	
	⋾ ┟	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	し ・ ・ ・ ・ 比能にしたいのですか?	·)							
É		指標菌が検出された原水を使用する浄水場に、紫									
		外線照射装置や膜ろ過装置を設置することにより	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		クリプトスポリジウム原虫を不活化させたり、除	紫外線照射装置等を行	_	目標	37, 850	38, 951	39. 041	39, 186	39, 841	
		去を行う。	う施設の計画認可水量	m3	実績	37, 850	38, 951	00, 011	00, 100	00, 011	
			UV照射等水量/計画UV	٥.	目標	82. 2	84. 6	84. 8	85. 1	86. 5	
			照射等水量 (認可値)	%	実績	82. 2	84. 6				
(4)	結果(どのような結果に結びつけますか?)									
	ſ	安全で安心な水道水が安定的に供給される。	L从光田比描	単位		D2左座	D4左座	DE左由	DC左由	D7左车	
			上位成果指標	甲1型		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
			紫外線照射装置整備率	%	目標	33. 3	41. 7	50	58. 3	66. 7	
			(整備済/必要箇所数)	70	実績	33. 3	41. 7				
					目標						
					実績						
	, .	2) 公吏業典の推移。由記									

		ポテススマンル	- 17	34/1									
		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R 4 年度(到		R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		36, 500		0		0		0
		県支出金	千円	59,	500		0		0		0		0
		地方債	千円	120,	300		51, 400		0		0		0
		その他 千円		89,	200		54, 700		0		0		0
		一般財源	千円		054	Δ1	142, 600		0		0		0
	事	事業費計(A)	円	296,	054		0		0		0		0
	業	事業費の		項目事	業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費												
入													
量													
		中未負の内訳	千円										
		内机											
	싰	職員従事工数	人工		0	1		0		0		0	
	件費	人件費計(B)	千円		0		7, 287		0		0		0
	1-5	ルコスト (A) + (B)	千円	296,	054	-	7, 287		0		0		0

ſ		紫外線照射装置整備事業	本年度担当課	水道課
ı	争伤争未有		前年度担当課	水道課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成19年3月30日に、厚生労働省が「水道におけるクリプトスポリジウム等の対策方針」を 開示、原水にこの原虫が含まれる可能性を示す指標菌(大腸菌や嫌気性芽苞菌)が検出され た施設には紫外線照射装置等の整備が認められ、平成20年度より事業を開始している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	変化なし
県などの法令等、社会情勢など)は	
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	変化なし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 的一及93日區間本(2)) 0 8 年 8	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 于切于木砂于区时 區【01100代】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	事業費の削減余地がある
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上した
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
関馬浄水場に紫外線照射装置を設	置したことにより、水道水を安心	・安全に市民に給水できるように	
なった。	成果向上余地がある程度ある		

0. 2720		775KT 1=775BT 65 6 E2 65 6
	@D###	2 = 1 + 2 = 41 + c
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
令和4年度の照射線設置工事が計画どおり進み、年度末には供用開	残りの浄水場においても、順次、	計画的に紫外線照射装置等を設置
始が出来た。	していく。	

	(-	1)事務	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中					
度						
		大	中	小		
	成果向上余地					

					77-1	DTAI	ハンハン		l '		
古丞	本来力	小中	□浄水	く場が	西設整備事業					本年度担当課	水道課
事務事業名										前年度担当課	水道課
	基本目標	05 1	快適に	こより	り安全で安心して		新規・継続	継続事業			
政策	政策	02 1	住みり	やすし	ハ快適なまちづく	(1)				実施計画・一般	実計計画事業
体系 施 策 02 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理 事									事	市単独・国県補	市単独事業
	基本事業	01 5	安全	で安ィ	心な水道水の安定	≧供給			業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	田		予算事	業名		区	実施方法	一部委託
科目	水道	ΧХ	XX	XX	小中浄水場施設	整備事業			分	事業分類	施設等整備事業
車:	事業計画 期間四ウ塩粉左座 事業期間 亚代21左座 △和 7左座									市長公約	該当なし
尹:	事業計画 期間限定複数年度 事業期間 平成31年度 ~ 令和7年度										該当なし
根拠	法令・条件	列等	水道	法							

	. 事務事業の現状把握【DO】 1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
_	1) 事務事業の手段・日的・福米・台指標 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	宇績	(年度に行	った主な	活動内容	<u></u> !)	
	市の沢浄水場及び石塚浄水場については、全体	令和3年度繰越	- JC19K	(Is IH	1 /21-11	77210	.,,,,,,,,,	,	
	的に老朽化が進んでおり、耐震施設でないことに	小中浄水場内配水池設	置工	≸ 900ı	ที่ 1基	(R3. 7∼R4	4. 5)		
	より、大規模な更新時期を迎えていた。	· 令和4年度	·—	,	··· -		,		
	別々での整備が検討される中、市の沢浄水場に	小中浄水場管理棟建築	₹工事	1棟	(R4. 6~R	5. 3)			
	ついては、水源地として使用している小中水源地	小中浄水場管理棟建築	三年 三	5理業	務委託(I	R4. 6~R5.	. 3)		
	に隣接してある、小中教習所跡地に整備した方が								
	、用地・建設費・維持管理費の面より有利である	活動指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	との判断により、市の沢浄水場と同様の施設を小			. —	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	中浄水場へ移転して整備を行っていく。	小中浄水場整備事業進捗	逐	%	8. 9	32. 5	57. 8	80.8	100
	②対象(この東敦東番は計 ロナ対象にしています	- th 0)							
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?) 			DO左曲	DA左曲	DC左曲	DC /= re	D7左由
	老朽化した市の沢浄水場	対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
		進捗率に対する配水量		m3	146	534	949	1. 327	1. 642
		たり十に方 り の		1110	170	004	010	1, 027	1, 042
_									
目的		: 状態にしたいのですか?)						
12.	老杓化した浄水場を耐震性・水密性か有る、必要	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	容量を確保できる施設にする。		丰区						
		進捗率に対する配水量	m3	目標	154	580	949	1, 327	1, 642
		進捗率×1,642m3/日		実績	146	534			
				目標実績					
	」 D結果(どのような結果に結びつけますか?)			夫祖					
-	安全で安心な水道水が安定的に供給される。								
	文主で文化な小道がか文だいに採相される。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		紫外線照射装置整備率	0/	目標	33. 3	41. 7	50	58. 3	66. 7
		(整備済/必要箇所数)	%	実績	33. 3	41. 7			
				目標					
				実績					
,	2) 松東業界の堆段・内記								

		ポテスタッル		34/					
		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R 5年度(目標)	R6年度(目標)	R7年度(目標)	
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	76, 400	250, 200	0	0	0	
		その他 千円		0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	8, 520	△250, 200	0	0	0	
	事	事業費計(A)	千円	84, 920	0	0	0	0	
	業費	事業費の		項目事業費	項目事業費	項目事業費	項目 事業費	項目事業費	
投									
入									
量									
		中未負の内訳	千円						
		7467							
	<u></u>	職員従事工数	人工	0	2	0	0	0	
	費	人件費計(B)	千円	0	14, 574	0	0	0	
	1-5	タルコスト (A) + (B)	千円	84, 920	14, 574	0	0	0	

		小中浄水場施設整備事業	本年度担当課	水道課
-	争伤争未石		前年度担当課	水道課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	市の沢浄水場の老朽化・耐震性などについて検討を行った結果、現在の場所で施設更新を行 うよりも、市有地の小中教習所跡地を借用し新たな浄水場を建設することが、建設費や今後 の維持管理費の面からも得策であるとの結論が出たことによる。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	水道施設など社会インフラについては、より高い安全性が求められて来ており、施設更新に合わせて水道施設全体を耐震性の有るものに変えていくため、「水道施設の技術的基準を定める省令」の一部改正が行われ、既存施設について計画的に耐震化に取り組むよう国から指導が有った。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	変化なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 的干及の計画相条に対する数十 &	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持

2. 事務事業の事後評価【Check】

②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
市でなければできない	妥当である	事業費の削減余地がある			
類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない		向上した			
⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
た最適な整備手法を検討して事業 ていく。	を進めることにより、事業費削減	成果向上余地がある程度ある			
できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容			
こおいて、実施計画を立て施工し	進捗状況や施工条件によって、本浄水場の整備に最適な手法や順序				
	などをその都度検討し、計画どお	り整備を進める。			
	市でなければできない 類似事務事業の名称 ⑧取組結果の理由 た最適な整備手法を検討して事業 ていく。 できた理由、できなかった理由	市でなければできない 妥当である 類似事務事業の名称 ⑥成果向上余地前年度評価結果 成果向上余地がある程度ある ⑧取組結果の理由 た最適な整備手法を検討して事業を進めることにより、事業費削減 ていく。 できた理由、できなかった理由 おいて、実施計画を立て施工し 進捗状況や施工条件によって、本			

_	, <u> </u>	計画相来の応拍とう後の分間は【notion】										
	(1)事務	事業の評価	価結果	(2)今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策						
	大				現状維持(従来通り実施)							
F	⋾ ∟				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。							
ì	票 中		0									
	生 小											
		大	中	小								
		成	果向上余	地								

車型	女車撃々	石塚浄水場施設整備事業						本年度担当課 水道課			
争作	事務事業名						前年度担当課	水道課			
	基本目標	05 巾	央適に	こより	り安全で安心して	「暮らせるまち	づくり			新規・継続	継続事業
政策	政策	02 1	主みり	やすし	ハ快適なまちづく	(1)				実施計画・一般	一般事業
体系	本系 施 策 02 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理					事	市単独・国県補	市単独事業			
	基本事業	01 5	安全	で安ィ	心な水道水の安定	≧供給			業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	一部委託
科目	水道	хх	хх	XX	石塚浄水場施設	整備事業			分	事業分類	施設等整備事業
車	* 計画	期間四字複数左座 東業期間					△和2年年 ◇和12年		市長公約	該当なし	
一	│ 事業計画 │ 期間限定複数年度 │ 事業期間 │ 令和2年度 ~ 令和12年度 │						総合戦略	該当なし			
根拠	法令・条件	列等	水道	法							

	1. 事務事業の現状把握【DO】									
	<u> </u>)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
		手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方) 令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)							!)			
		石塚浄水場については、全体的に老朽化が進んで	更新基本設計業務委託			迁(R4.8	∼ R5. 3)			
		おり、耐震施設でないことにより、大規模な更新	• 地質調査業務委託 (R4	. 8∼R4	l. 11)					
		時期を迎えていた。また、雨水対策や紫外線照射								
		装置の設置などもあり、現在の敷地では狭く、施								
		設更新を行う事はかなり難しい状態となっていた								
		が、改めて検討をした結果、コンパクト化した機 器の設置や仮設機器類を運用することにより、現				D2左庄	D/左庄	DE任由	D6年由	D7左由
		番の設置や収設機器類を運用することにより、現 敷地内でも更新ができると判明した。その為、令	活動指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)
		叙地内でも更新ができると刊明した。その為、P 和4年度に基本設計業務委託を発注し、細かい内	石塚浄水場整備事業進捗	- - - - -	%	<u>(天祖)</u> 0.1	1.2	<u>(日1宗)</u> 4.5	21.8	32.4
		容について、検討していく方針となった。	1% 77 % 2 個 字 未 進 2	/ 	70	0. 1	1. 2	7. 0	21.0	02. 4
r		②対象 (この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
	ı	老朽化した石塚浄水場	上上在北上市		24 /T	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			進捗率に対する配水量		m3	5	56	208	1, 008	1, 499
	目									
	_ 约	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	:状態にしたいのですか?)						
		老朽化した浄水場を、耐震性が有り必要容量を確保できる施設にする。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			進捗率に対する配水量	m3	目標	5	56	208	1, 008	1, 499
			進捗率×4,626m3/日	1110	実績	5	56			
					目標					
L		h+□ (18 = 1 ≥ h h+□ + - + + - + + + + + + + + + + + + + +			実績					
	(4); [結果(どのような結果に結びつけますか?)								
		安全で安心な水道水が安定的に供給される。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			紫外線照査装置整備率	%	目標	33. 3	41. 7	50	58. 3	66. 7
			(整備済/必要箇所数)	/0	実績	33. 3	41. 7			
					目標					
L					実績					
	, ,	ン 公古世典の世段 「中国								

		やナベス・バル	_ !/	311/									
		財源内訳	単位	R3年度(乳	 [績)	R 4 年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		484		0		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		484		0		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	未												
ᄉ	貝												
量		事業費の											
		中未負の内訳	千円										
		7664											
	싰	職員従事工数	ᆺ		0		1		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		0		7, 287		0		0		0
	1-5	タルコスト (A) + (B)	千円		484		7, 287		0		0		0

ſ	事務事業名	石塚浄水場施設整備事業	本年度担当課	水道課
	尹伤尹未有		前年度担当課	水道課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	石塚浄水場は、全体的に老朽化が進んでおり、耐震施設でないこともあり、大規模な更新時期を迎えていた。市の沢浄水場との統合を行うことも検討されたが、各浄水場で個々に整備した方が得策であるとの検討結果がだされ、石塚浄水場の整備を行うこととなった。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	水道施設など社会インフラについては、より高い安全性が求められて来ており、施設更新に
県などの法令等、社会情勢など)は	合わせて水道施設全体をしっかりした耐震性の有るものに変えていくため、「水道施設の技
事務事業の開始時期と比べてどのように	術的基準を定める省令」の一部改正が行われ、既存施設について計画的に耐震化に取り組む
変化していますか?	よう国から指導が有った。
③この事務事業に対して、当該年度中、	変化なし
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 的干及の計画相条に対する数十 &	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地					
結びついている	市でなければできない	妥当である	事業費の削減余地がある					
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果					
類似事務事業はない		成果向上余地がある程度ある	向上した					
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地					
新浄水場の規模・特性等を考慮し	た最適な整備手法を検討して事業	を進めることにより、事業費削減						
・工期短縮を図り成果向上をさせ	・工期短縮を図り成果向上をさせていく。							
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由 ⑪目標達成に向けて必要となる取組内容								

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
令和2年度から令和12年度の期間事業で計画を立て、実施している	基本設計を行い、次年度詳細設計を行う予定だが、現地に会った最
が、年度ごとの計画通り進められている。	適な設計を行い、工期・工事費縮減を図る。

	(1)事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
I					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
楞達 成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					-j- 1	カチホヽ	11/1/1/1	ı /			
車級	車業々	管網整備事業							本年度担当課	水道課	
事務事業名								前年度担当課	水道課		
	基本目標	05 '	快適に	こよ	り安全で安心して	で暮らせるまち	づくり			新規・継続	継続事業
政策	政策	02	住みり	やすり	ハ快適なまちづく	(1)				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	02	安全	で安に	定した水の供給と	生活排水の適正処理			事	市単独・国県補具	市単独事業
	基本事業	■業01 安全で安心な水道水の安定供給						業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	一部委託
科目	水道	хх	XX	хх	管網整備事業				分	事業分類	施設等整備事業
車÷	* 라 파		出	- 年	:編 []]原 [車券即間	亚式1/年度。			市長公約	該当なし
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成14年度 つ									総合戦略	該当なし	
根拠	法令・条件	列等	水道	法							

1. 事務事業の現状把握【DO】

		事務事業の現代に注 [10]								
_		1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
(1)	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	l	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	ŧ)	
		水道の管網状況及び需要を判断し、単年ごとに	管網整備工事:3本(L=	884. 2n	1)					
		、配水管を布設する。	R3繰越工事:1本(L=	310. 3r	n) (F	R3. 10∼R4	4. 4)			
			│ R4工事 : 2本 (L=	573. 9r	n) (F	R4. 8∼R4.	. 12)			
						R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			年度施工延長		m	1.051	884	150	150	150
			十尺池工足区			1, 001	001	100	100	100
		②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
	Ī	配水管が、部分的にしか布設されていない個所	対象指標	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
		、道路新設等で、必要になった箇所。	刈 家拍标		中山	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			整備必要とされる延長		m	4, 398	3, 514	3, 364	3, 214	3, 064
h	∄ŀ	○ ☆回 / = ○ 本 孜 古 光 に ・ と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・								
	的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような		') 						
		配水管を整備することにより、管網を一体化し 、水道水の安定供給を図る。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			管網整備済延長		目標	32, 214	33, 098	33, 248	33, 398	33, 548
				m	実績	32, 214	33, 098			
					目標					
L	\Box				実績					
(4)	結果 (どのような結果に結びつけますか?)								
		漏水もなく、安定した水道水の供給が可能になる。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			老朽管更新延長(単年	km	目標	2	3. 2	2. 9	2. 7	3
			度)	NIII	実績	2. 4	2. 1			
					目標					
					実績					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度(目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		67, 400		49, 700		0		0		0
		その他	千円		700		350		0		0		0
		一般財源	千円		16, 010		△50, 050		0		0		0
	車	事業費計(A)	千円		84, 110		0		0		0		0
	事業	事業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費												
入													
量			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		0		2		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		0	14, 574		0		0		0	
	h-5	タルコスト(A)+(B)	千円		84, 110		14, 574		0		0		0

車	管網整備事業	本年度担当課	水道課
事務事業名 		前年度担当課	水道課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	水道事業開始から、水道普及を目的として適正な水量、水圧の確保のために実施している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	変化なし
県などの法令等、社会情勢など) は	
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	水道未普及の地区から、新しく配水管を整備して欲しい(管網整備)との要望がある。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 的一及93日區間本(2)) 0 8 年 8	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 争切争未以争及叶叫【UICUN】						
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
前年度評価結果が「成果向上余地	がない」のため取組実績なし		成果向上余地がない			
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容			
今年度予定した2箇所の水道管(配	!水管)の整備が出来た。	給水区域内で水道水の使用に伴う水圧不足の解消や、水需要者が直				
		近の道路(公道)から分水し、安定的に水道水が供給されるように計				
		画を立て、順次、配水管の整備を	していく。			

今年度予定した2箇所の水道管(配水管)の整備が出来た。	給水区域内で水道水の使用に伴う水圧不足の解消や、水需要者が直
	近の道路(公道)から分水し、安定的に水道水が供給されるように計
	画を立て、順次、配水管の整備をしていく。

	(1)事務事業の評価結果				(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

						<u> </u>	117777 1 ·	<u> </u>			
車数	§事業名	電気・機械設備更新事業								本年度担当課	水道課
す が	争未有									前年度担当課	水道課
	基本目標	05 '	快適に	こよ	り安全で安心して	「暮らせるまち	づくり			新規・継続	継続事業
政策	政策	02	住みり	やすり	ハ快適なまちづく	(1)				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	02	安全	で安に	定した水の供給と	生活排水の適	活排水の適正処理			市単独·国県補助	市単独事業
	基本事業	事業 01 安全で安心な水道水の安定供給						業	任意・義務	任意的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	一部委託
科目	水道	хх	ХХ	хх	電気・機械設備	更新事業			分	事業分類	施設維持管理事業
車:	** 計画	当在在場口海上 東紫期間 亚ct17在在 - ·						·		市長公約	該当なし
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~							十八八十尺 ~			総合戦略	該当なし
根拠	法令・条件	列等									

	1. 事務事業の現状把握【DO】												
_	1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標												
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)												
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	医実績	(令和4年度に行った主な活動内容)									
	・老朽化した電気、機械、計装設備を各々の耐用	実施設計業務委託:1件(R4. 12	∼R5. 3)	3)								
	年数を参考にして作成した更新計画を基に、更新	令和3年度繰越工事:1工事											
	┃を実施。	(令和4年度決算額29,7											
	・実施する前年に当該年度分を調査、確認。	令和4年度電機・機械設				R4. 8∼R5.	3)						
	・水道局内にて更新設備について協議決定。	うち3工事繰越 (繰	越額30), 000 T	-円)								
	・更新実施する設備の設計書作成。				DO左击	DA左击	DC左击	DC左击	D7左击				
	・入札により施工業者決定。 ・工事の施工管理。	活動指標		単位	R3年度 (実績)	(実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)				
	・工事完了検査。 更新設備の稼動。	本事業で更新した設備台	计数	台	32	44	55	35	35				
		<u> </u>											
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	「か?)											
	電気、機械、計装設備	対象指標		単位	R3年度 (実績)	R4年度 (実績)	R5年度 (目標)	R6年度 (目標)	R7年度 (目標)				
		更新時期にある設備台数		台	40	60	55	35	35				
		機械、電気、計装設備台	数	台	828	828	828	828	828				
目	○ - ○ - ○ - ○ - ○ - ○ - ○ - ○ - ○ - ○ -												
的	1000001000100000000000000000000000000	『状態にしたいのですか?	')										
	設備老朽化による故障や事故を未然に防ぐ。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		更新した設備台数/更	%	目標	100	100	100	100	100				
		新時期にある設備台数	/•	実績	80	73. 3		4					
		更新時期にある設備台	%	目標	5 5	7	/	4	4				
a	 結果(どのような結果に結びつけますか?)	数/設備台数総数		実績	5	/							
اط	安全で安心な水道水が安定的に供給される。												
	女主に女心な小垣小が女を門に供和される。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度				
		紫外線照射装置整備率	%	目標	33. 3	41. 7	50	58. 3	66. 7				
		(整備済/必要箇所数)	/0	実績	33. 3	41. 7							
				目標									
	1			実績									
(2) 総事業費の推移・内記												

		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度(E]標)	R 6 年度([目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		151, 899		0		0		0		0
	車	事業費計(A)	千円		151, 899		0		0		0		0
	貧	事業費の		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投													
入													
量			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		0		1		0		0		0
	件	人件費計(B)	千円		0		7, 287		0		0		0
	トータ	タルコスト (A) + (B)	千円		151, 899		7, 287		0		0		0

事務事業名	電気・機械設備更新事業	本年度担当課	水道課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	水道課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成17年度市町村合併以来、継続して正常な機器の運転を確保するため。
県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	地方公営企業法施行規則の耐用年数の変更は特になし。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	変化なし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 的一及93日區間本(2)) 0 8 年 8	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地		
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない		
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上した		
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地		
本事業は、適正な維持管理を行っ					
工事を適正に行っている	成果向上余地がない				
0					

0					
⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容				
今年度については、計画通り発注できたが、半導体不測の影響で3	延命措置を行いながら、安心・安全・安定した水道水の供給を行う				
工事繰越となった。	ため、計画的に順次、電気・機械設備機器の更新工事を行っていく				
	o				

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	-					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

車級	車業々	老村	5管更	三新 事	業					本年度担当課	水道課		
事務事業名										前年度担当課	水道課		
	基本目標 05 快適により安全で安心して暮らせるまちづくり								新規・継続	継続事業			
政策	政 策	02	住み	やすり	ハ快適なまちづく	(1)				実施計画・一般	実計計画事業		
体系	施策	02	安全	で安に	定した水の供給と	生活排水の適	正処理		事	市単独・国県補	市単独事業		
	基本事業	基本事業01 安全で安心な水道水の安定供給							業	任意・義務	任意的事業		
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	一部委託		
科目	水道	хх	XX	хх	老朽管更新事業				分	事業分類	施設等整備事業		
車:	本라田		光左连续1751							市長公約	該当なし		
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成19年度 ~									総合戦略	該当なし			
根拠》	法令・条件	列等	水道			_	-						

- 1. 事務事業の現状把握【DO】

(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標										
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4年度に行った主な活動内容)							
	市内に埋設してある老朽化した導水管・送水管・	• 実施設計業務委託	2本								
	配水管を耐震性のある管に布設替えをする。	・老朽管更新工事	6本	L=2, 114. 9m (R4. 6~R5. 2)							
		菊川区画整理地区	3本	L=1, 083. 7m							
		奈良渕区画整理地区	2本	L= 754. 9m							
		その他(岩崎町)	1本	L= 27	76. 3m						
		活動指標		単位	R3年度		R5年度		R7年度		
		12-072			(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)		
		年度施工延長		km	2. 4	2. 1	2.3	2. 7	3		
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています										
	布設後40年を経過した老朽管(<i>o</i> 50mm以上)				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	市政区10年と祖題のたら打合(単000000000000000000000000000000000000	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)		
		老朽管延長(φ50・40年	以上)	km	148. 4	163. 7	200	232	253		
目											
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)								
нэ	老朽管を耐震性が有り、漏水のおそれのない管に	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	すること。		—						, ,,,		
		老朽管延長一老朽管更	km	目標	146	164. 9	197. 7	230. 3	250		
		新延長		実績目標	146	161. 6					
				実績							
<u> </u>	結果(どのような結果に結びつけますか?)	<u> </u>		一大帜							
	水道施設が適切に維持管理される。										
	יייייייייייייייייייייייייייייייייייייי	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
		老朽管更新延長(単年	lem	目標	2	3. 2	2. 9	2. 7	3		
		度)	km	実績	2. 4	2. 1					
				目標							
				実績					1		

		財源内訳	単位	R3年度(実	€績)	R4年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円	1	129, 600		115, 800		0		0		0
		その他	千円		1, 050		1, 750		0		0		0
		一般財源	千円		20, 787	Δ	117, 550		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円	1	51, 437		0		0		0		0
	業	事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
	費												
人													
量			千円										
		1,101											
	从	職員従事工数	人工		0		2		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		0		14, 574		0		0		0
	トータ	ルコスト (A) + (B)	千円	1	51, 437		14, 574		0		0		0

事務事第	老朽管更新事業	本年度担当課	水道課
事物争え	₹ 1	前年度担当課	水道課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成19年度から、漏水の発生が多いことにより、事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	厚生労働省より耐震性に問題がある石綿管の更新事業が全国的に進み、これからは、老朽化した塩ビ管等の老朽化の進行度を踏まえ、遅滞なく耐震性の有る管への転換を進めるよう通知が有った。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	減災・防災の観点から、対処をどうしているかという質問がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 的干及の計画相条に対する数十 &	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 事物事業の事後計画【いだい】				
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地	
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない	
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果	
類似事務事業はない		成果向上余地がない	取組むことができなかった	
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地	
前年度評価結果が「成果向上余地	成果向上余地がない			
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容		
本年度予定した整備区域、延長を	布設替え工事ができた。	老朽化した配水管等を耐震化や漏	水の防止するため、また、年を越	
		ナーレル女に笠+垪加していくの	マ 計画的に答った記録で車も出	

⑩A表の成果指標の目標が達成できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容
本年度予定した整備区域、延長を布設替え工事ができた。	老朽化した配水管等を耐震化や漏水の防止するため、また、年を越すごとに老朽管も増加していくので、計画的に管の布設替工事を進める。それには、布設する管種の選定や工法の検討を行い、工期短縮・工事費削減も併せて検討していく。

	(1) 事務事業の評価結果			西結果	(2)今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大	<u></u>			現状維持(従来通り実施)	
I					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
楞達 成	中			0		
度	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					77	DTA \	ソングノー				
市丞	事業名	水質検査事務						本年度担当課 水道課			
事物									前年度担当課	水道課	
	基本目標	05 '	快適に	こよ	り安全で安心して	で暮らせるまち	づくり			新規·継続	継続事業
政策	政策	02	住みり	やす	い快適なまちづく	(1)				実施計画・一般	一般事業
体系	施策	02	安全	で安!	定した水の供給と	生活排水の適	正処理		事	市単独·国県補助	市単独事業
	基本事業	01 :	安全	で安	心な水道水の安定	≧供給			業	任意・義務	義務的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	一部委託
科目	水道	хх	XX	хх	水質検査事務				分	事業分類	検査・調査事務
市米計画				単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~						市長公約	該当なし
尹:	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~					総合戦略	該当なし				
根拠	根拠法令・条例等 水道法										

1. 事務事業の現状把握【DO】

	1 .	事務事業の現状把握【DO】								
	(-	1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
	1)	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度				った主な	活動内容	?)	
		・水道法に基づき水質検査計画を策定し、同法第	水質基準項目(51項目:5							
		20条に基づく検査を適時実施する。実施方法は指	水質基準項目(9項目:4月			月,10月,	12月,1月,	(3月)		
		定検査機関に委託して行う。	水質管理目標設定項目(\				
		・採水場所:水道局所管の浄水22箇所(令和5年	放射性物質検査(2項目6							
		度からは20箇所)、放射性物質検査22箇所(令和25年を含むから2000年)、みず原水550第三(会社)	水質検査を実施した検体							
		3年度途中から20箇所)、及び原水55箇所(令和4年度からは52箇所、令和5年度からは51箇所)	個人宅給水栓からの水質	1快宜(777	: 毋口) R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		・検査項目:水質基準項目(51項目・9項目)、	活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		水質管理目標設定項目(4項目)、放射性物質検	水質検査を実施した検体	太数 (検体	372	366	340	340	340
		査(2項目)、個人宅給水栓からの水質検査委託2	小英人豆と人心した人 性		IX IT	0,2		0.10	0.0	- 0.10
		7人 (令和5年度からは25人)								
Г		②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
		· 給水区域内水道使用者	対象指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		・原水(井戸の水)及び浄水(蛇口からの水)			(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
			水質検査を実施すべき슄	検体	372	366	340	340	340	
			給水人口	人	114, 074	113, 072	113, 000	113, 000	113, 000	
	目 ├	◎尭□ /= ○末次末ポート ~ せんとじのしこむ								
	的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?	')					I	
		供給する水道水について、各水質基準に適合して いるかを判定し、安全な飲料水であるように適切	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		に管理する。	水質基準に適合した割		目標			100	100	100
		に自生する。	小貝坐牛に過日した副 合	%	実績	100	100	100	100	100
			Н		目標	100	100			
					実績					
	4	結果 (どのような結果に結びつけますか?)								
		安全で安心な水道水を安定的に供給する。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
				中位		いサ皮	144段			
			紫外線照射装置整備率	%	目標	00.0	44 -	50	58. 3	66. 7
			<u>(整備済箇所数/必要箇</u>		実績	33. 3	41. 7			
					目標実績					
L					天視					
	11	2) 松車業费の堆段。内部								

		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0		0		0		0
		一般財源	千円		5, 512		0		0		0		0
	事	事業費計(A)	千円		5, 512		0		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	考	事業費の											
入	貝												
量													
			千円										
		四部人											
	슸	職員従事工数	人工		2		2		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		14, 654		14, 574		0		0		0
	トータ	リルコスト (A) + (B)	千円		20, 166		14, 574		0		0		0

事務事業名	水質検査事務	本年度担当課	水道課
争伤争未有		前年度担当課	水道課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成17年度市町合併以来、継続して水道水の安定供給を確保するため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	平成23年3月11日の東日本大震災により、水道水中の放射性物質検査が必要となった。水道水の安全の観点からすると、水質基準項目が見直されて、より管理が厳しくなると予想される。また、平成25年度より、水道施設の運転管理業務委託が開始し、本事業で実施していた検査の一部が、受託者側で実施することになった。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

() () () () () () () () () ()	H ***
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上しなかった			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
			成果向上余地がない			
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容				

_	, <u> </u>		ノルじ 1口 С -	7 久 () /) 1	THE THEFTON	
	(1)事務	事業の評価	価結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
E	∄L				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
樗	達 中 戊		0			
5	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					771	DTAL	ハンハント						
古丞	事務事業名 給水装置工事検査事務										水道課		
争的											水道課		
	基本目標	05 1	快適に	こよ	り安全で安心して		新規・継続	継続事業					
政策	政策	02 1	住みり	やすり	ハ快適なまちづく			実施計画・一般	一般事業				
体系	体系 施 策 02 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理										市単独事業		
	基本事業	01 5	安全	で安ィ	心な水道水の安定	≧供給			業	任意・義務	任意的事業		
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営		
科目	水道	XX	XX	хх	給水装置工事検	查事務			分	事業分類	許認可・審査事務		
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~										市長公約	該当なし		
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~										総合戦略	該当なし		
根拠	根拠法令・条例等 水道法												

1. 事務事業の現状把握【DO】

Ι.	事務事業の現状把握【DU】								
_(1)事務事業の手段・目的・結果・各指標								
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	?)	
	・分水工事の立会い	分水工事の立会件数:3							
	・指定給水装置工事事業者を通じて申し込まれた	給水装置工事竣工検査作							
	給水装置工事の、新設及び改造工事の竣工検査	給水装置工事設計書件数	女(単年	度):	1,096件				
	・工事が施工された新設、改造等の給水装置工事								
	設計書等の保存管理								
					R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		活動指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
		分水工事の立会件数		件	373	325	350	350	350
		給水装置工事竣工検査作	+数	件	1, 093	1, 081	1, 100	1, 100	1, 100
		給水装置工事設計書件数	女(累	件	78, 265	79, 361	80, 500	81, 600	82, 700
	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	か?)							
	給水区域における水道使用者	対象指標	単位	R3年度			R6年度	R7年度	
				(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)	
		給水人口	人	114, 0/4	113, 072	113, 000	113, 000	113, 000	
目	│ │③意図(この事務事業によって、対象をどのような	<u> </u> 	<u> </u>						
的	関係法令等の基準に適合した給水装置工事を施工								
		成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		適切な施工が確認され		目標			100	100	100
		た件数/申込まれた給	%	実績	100	100			
				目標					
				実績					
4	結果(どのような結果に結びつけますか?)								
	適切に維持管理されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		老朽管更新延長(単年		目標			2. 3	2. 7	3
		在竹官史制延安(早年 度)	km	実績	2. 4	2. 1	۷. ۵	Z. 1	<u>_</u>
		12/		目標	۷. ٦	۷. ۱			
				実績					
_	。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	•							

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0	0		0		0	
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0	0			0		0		0
		一般財源	千円		0		0		0		0		0
	事業	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
		事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費												
入													
量													
			千円										
		內訳											
	싰	職員従事工数	人工		3	3 3			0	0		0	
	費	人件費計(B)	千円		21, 981		21, 861		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		21, 981		21, 861		0		0		0

事務事業名	給水装置工事検査事務	本年度担当課	水道課
尹衍尹未位		前年度担当課	水道課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成17年度市町合併以来、継続して水道水の安定供給を確保するため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	人口は減少傾向にあるが、世帯数は増加傾向にあるため、給水装置工事申込件数は横ばい傾向にある。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	H ** - Kvile
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 争務争耒の争俊評価【UNECK】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上しなかった
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
			成果向上余地がない
⑩ A 表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容

_	, <u> </u>		ノルじ 1口 С -	7 久 () /) 1	THE THEFTON	
	(1)事務	事業の評価	価結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
E	∄L				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
樗	達 中 戊		0			
5	小					
		大	中	小		
		成	果向上余	地		

					77-1	DTAL	ハンハン		1			
古丞	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	給水装置工事事業者指定事務								本年度担当課	水道課	
争的	争未有									前年度担当課	水道課	
	基本目標	05	快適に	こよ	り安全で安心して		新規・継続	継続事業				
政策	政策	02 1	住みり	やすり	ハ快適なまちづく			実施計画・一般	一般事業			
体系	体系 施 策 02 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理										市単独事業	
	基本事業	01 5	安全	で安ィ	心な水道水の安定	≧供給			業	任意・義務	義務的事業	
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営	
科目	水道	хх	XX	хх	給水装置工事事	業者指定事務			分	事業分類	証明書交付等事務	
東紫江南										市長公約	該当なし	
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~										総合戦略	該当なし	
根拠	根拠法令・条例等 水道法											

1. 事務事業の現状把握【DO】

	事物事業の現外に従 【100】											
_	1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標											
1	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
	事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	医実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	\$)				
	給水装置工事事業者からの佐野市指定給水装置工	給水装置工事事業者を指定した件数:7件										
	事事業者登録申請に基づき、書類審査、事業所の											
	調査のうえ指定する。											
					D0 /	D4 == ==		D0 == ==	D7 /- /-			
		活動指標		単位	R3年度	R4年度	1 1	R6年度	R7年度			
			ン / H. 米h.	件	<u>(実績)</u> 9	(実績)	<u>(目標)</u> 5	<u>(目標)</u> 5	<u>(目標)</u> 5			
		給水装置工事事業者指定	E1十致	1+	9	,	3	3	3			
	 ②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	- か?)										
	給水装置工事事業者の指定を受けようとする者				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		対象指標	単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)				
		給水装置工事事業者指定	件	9	7	5	5	5				
目												
的	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	状態にしたいのですか?)									
ניו	給水装置工事を法令等の基準に従って適正に施工	成果指標	単位	/	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
	することが出来ると認められた事業者を指定する		中区		加十及	八十尺						
	0	指定件数/申請件数	%	目標	400	100	100	100	100			
				実績	100	100						
				目標実績								
a	 結果(どのような結果に結びつけますか?)			夫祖								
4			Г	T /								
	廻 タノノ〜飛げ 自 生 ご イ レ し い る。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度			
		老朽管更新延長(単年		目標			2. 3	2. 7	3			
		度)	km	実績	2. 4	2. 1						
				目標								
				実績								
		•	•									

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度((目標)
		国庫支出金	千円		0		0	0			0		0
		県支出金	千円		0	0			0	0		0	
		地方債	千円		0	0			0		0	0	
	事業	その他	千円		0	0			0		0		0
		一般財源	千円	0		0			0		0		0
		事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
		事業費の 内訳		項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	考												
入													
量													
			千円										
		四部人											
	슸	職員従事工数	人工		2		2		0		0		0
	費	人件費計(B)	千円		14, 654		14, 574		0	0		0	
	トーち	!ルコスト (A) + (B)	千円		14, 654		14, 574		0		0		0

事務事	給水装置工事事業者指定事務	本年度担当課	水道課
一 争伤争:	表 位	前年度担当課	水道課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成17年度市町合併以来、継続して水道水の安定供給を確保するため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	規制緩和以降、市外からの指定申請が増加している。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	H ** - Kvile
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地			
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない			
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果			
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上しなかった			
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地			
			成果向上余地がない			
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容				

	(1) 事務事業の評価結果			西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大	,			現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大	中	小		
	成果向上余地			地		

	- 一 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・										
車数	マ車 学 夕	給水装置工事受付・審査事務						本年度担当課	水道課		
事務事業名						前年度担当課	水道課				
	基本目標	05 '	快適口	こよ	り安全で安心して	「暮らせるまち	づくり			新規・継続	継続事業
政策	政策	02	住みり	やすり	ハ快適なまちづく	(1)			事	実施計画・一般	一般事業
体系	施策	02	安全	で安況	定した水の供給と	生活排水の適	正処理			市単独·国県補助	市単独事業
	基本事業	01 :	安全~	で安ィ	心な水道水の安定	≧供給			業	任意・義務	任意的事業
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目	水道	хх	XX	хх	給水装置工事受	付·審査事務			分	事業分類	許認可・審査事務
車:	申恭訂四			単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~						市長公約	該当なし
一 尹 :	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~									総合戦略	該当なし
根拠	法令・条件	列等	水道	法							

1. 事務事業の現状把握【DO】

		争務争耒の現状把握【№】								
_) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
(1)=	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	う) 令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容)							
	Γ	・給水装置工事事業者を通して申請があった工事	給水装置工事受付件数:	1, 102	2件					
		の内容を確認し受け付ける。	給水装置工事審査件数:	1, 096	件					
		・給水装置工事事業者を通して申請があった給水								
		装置の構造及び材質が、基準に適合しているかど								
		うかを審査する。								
						DO左击	DA左击	DC左曲	DC左击	D7左击
			活動指標		単位	R3年度	R4年度	R5年度		R7年度
			給水装置工事受付件数		件	<u>(実績)</u> 1.152	<u>(実績)</u> 1.102	<u>(目標)</u> 1.100	<u>(目標)</u> 1.100	<u>(目標)</u> 1.100
			給水装置工事案的件数		<u> +</u> 件	1, 152	1, 102	1, 100	1, 100	1, 100
			和小衣但工尹借且什奴		IT.	1, 100	1, 030	1, 100	1, 100	1, 100
	+	②対象(この事務事業は誰・何を対象としています	·か?)							
	- 1-	給水装置工事事業者の指定を受けようとする者				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		和小衣匠エチチズ日の旧たと文()の / C / O 日	対象指標		単位	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
			給水装置工事事業者指定	≧件数	件	9	7	5	5	5
E	╕┞									
白	ьL	③意図(この事務事業によって、対象をどのような	:状態にしたいのですか?)						
۲		給水装置工事を法令等の基準に従って適正に施工	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
		することが出来るか申請書を受付けて審査し指導	***************************************	十四	<u>/</u>	110-12	1117/2			
		するとことで、給水装置工事事業者としての質の	給水装置工事受付件数	件	目標	4 450	4 400	1, 100	1, 100	1, 100
		向上につなげる。	外心灶黑工市富木丛粉	- ''	実績	1, 152	1, 102	1 100	1 100	1 100
			給水装置工事審査件数	件	目標 実績	1. 166	1. 096	1, 100	1, 100	1, 100
	<u> </u>	結果(どのような結果に結びつけますか?) 			大視	1, 100	1, 090			
16	~_:	間末(とのような相来に相び 507ますが:/ 適切に維持管理されている。								
		週切に推行官垤されている。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			老朽管更新延長(単年		目標			2. 3	2. 7	3
			度)	km	実績	2. 4	2. 1	2.0	2. /	
					目標					
					実績					
_					, , , , , ,					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R 5 年度((目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0	•••••	0		0		0		0
		一般財源	千円		0		0		0		0		0
	車	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	未												
入	貝	事業費の											
量													
			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		3		3		0		0		0
	骨費	人件費計(B)	千円		21, 981		21, 861		0		0		0
	h-5	タルコスト (A) + (B)	千円		21, 981		21, 861		0		0		0

事務事業名	給水装置工事受付・審査事務	本年度担当課	水道課
争份争未在		前年度担当課	水道課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成17年度市町合併以来、継続して水道水の安定供給を確保するため。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・ 県などの法令等、社会情勢など)は 事務事業の開始時期と比べてどのように 変化していますか?	人口は減少傾向にあるが、世帯数は増加傾向にあるため、給水装置工事申込件数は横ばい傾向にある。
③この事務事業に対して、当該年度中、 関係者(市民、議会、事務事業対象者) からどのような意見・要望がありますか?	特になし。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(十) 的千度以肝臓肺术に対する以手 以	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 争伤争未の争復計価【GIRCK】					
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地		
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない		
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果		
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上しなかった		
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地		
			成果向上余地がない		
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて必要となる取組内容			

	(.	1)事務	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
目	大				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大成	中 果向上余	小 地		

					77-1	DTAI	ハンハン				
車型	務事業名	浄オ	く場等	運転	管理業務委託事		本年度担当課	水道課			
争的	伊禾石									前年度担当課	水道計画係
	基本目標	05	快適に	こよ	り安全で安心して			新規・継続	継続事業		
政策	政策	02 1	住みり	やすり	ハ快適なまちづく			実施計画・一般	一般事業		
体系	体系 施 策 02 安全で安定した水の供給と生活排水の適正処理									市単独・国県補	市単独事業
	基本事業 01 安全で安心な水道水の安定供給									任意・義務	任意的事業
予算	予算 会計 款 項 目 予算事業名								区	実施方法	一部委託
科目	科目 水道 xx xx xx 净水場等運転管理業務委託事務									事業分類	施設維持管理事業
車	事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成22年度 ~									市長公約	該当なし
争:										総合戦略	該当なし
根拠法令・条例等											

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方) 令和4年度実績(令和4年度に行った主な活動内容) 令和4年から5年間、包括的業務委託(施設運転管理、点検・水質管理、環境整備、物品調達業務	<u> </u>	The state of the s								
令和4年から5年間、包括的業務委託 (施設運転 皆理、扇検、水質管理、環境整備、物品の調達) により水道施設の運転管理を行う。	$\mathbb{I}^{\mathbb{I}}$	手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
管理、点検、水質管理、環境整備、物品の調達) により水道施設の運転管理を行う。		事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	令和4年度	実績	(令和4	年度に行	った主な	活動内容	?)	
日本の表別を使用を行う。		令和4年から5年間、包括的業務委託(施設運転	4月から3月 運転・点核	食・水 り	質管理.	、環境整	備、物品	調達業務		
活動指標 単位		管理、点検、水質管理、環境整備、物品の調達)	4月から3月 月間報告会	€の開作	崔					
「大切」		により水道施設の運転管理を行う。	4月から3月 軽微な修繕	善業務(の内容	確認、指	導、監督			
選転管理業務 月 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12										
選転管理業務 月 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12										
選転管理業務 月 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12								l · ·		
運転管理業務 月 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12			活動指標		単位					
日的 月間報告会 回 12 12 12 12 ②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?) 浄水場等運転管理業務が適正に行われることにより、水道施設の維持管理を確実に実施する。 対象指標 単位 (実績) (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標			12-072							
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?) 浄水場等運転管理業務が適正に行われることにより、水道施設の維持管理を確実に実施する。										
浄水場等運転管理業務が適正に行われることにより、水道施設の維持管理を確実に実施する。 対象指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (日標) (日本) (月间報告会		回	12	12	12	12	12
浄水場等運転管理業務が適正に行われることにより、水道施設の維持管理を確実に実施する。 対象指標 単位 (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標		②社会 (この東敦東業は鉄 はた社会にしていませ								
り、水道施設の維持管理を確実に実施する。 対象指標 単位 (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (事務) 第			か?) T			DO左曲	DA左曲	DC /= d=	DC左曲	D7左曲
業務対象施設 箇所 113 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110 110			対象指標		単位					
日 ③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?) 浄水場等の運転管理が適性に行われることにより		り、小坦旭故の維持官垤を惟夫に夫心りる。	業務対象体記		笛託					
かり かり かり かり かり かり かり かり			<u>未仍对多肥政</u>		直加	110	110	110	110	110
かり かり かり かり かり かり かり かり										
予水場等の運転管理が適性に行われることにより 成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 不適正な管理が原因の 機器の故障 目標 1		③意図(この事務事業によって、対象をどのような	・ 状態にしたいのですか?)						
水道施設の維持管理が確実に行われる。 成果指標 単位 R3年度 R4年度 R6年度 R7年度 不適正な管理が原因の機器の故障 件 目標 0 0 0 4結果(どのような結果に結びつけますか?) 実績 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 安全で安心な水道水が供給される。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 紫外線照射装置等整備 04 目標 33.3 41.7 50 58.3 66.7	的				\Box	20 /	245-	5544	205-	
不適正な管理が原因の機器の故障 件 目標 0 0 0 0			成果指標	単位		R3年度	K4年度	K5年度	R6年度	R/年度
機器の故障 1+ 実績 0 0 目標 実績			不適正な管理が原因の	111	目標			0	0	0
実績 実績 ④結果(どのような結果に結びつけますか?) 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 紫外線照射装置等整備 04 目標 33.3 41.7 50 58.3 66.7			機器の故障	1+	実績	0	0			
④結果(どのような結果に結びつけますか?) 安全で安心な水道水が供給される。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 紫外線照射装置等整備 04 目標 33.3 41.7 50 58.3 66.7										
安全で安心な水道水が供給される。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 紫外線照射装置等整備 04 目標 33.3 41.7 50 58.3 66.7					実績					
上位成果指標 単位 R3年度 R5年度 R6年度 R7年度 紫外線照射装置等整備 04 目標 33.3 41.7 50 58.3 66.7	4	結果(どのような結果に結びつけますか?)								
紫外線照射装置等整備 04 目標 33.3 41.7 50 58.3 66.7		安全で安心な水道水が供給される。	L位成里指標	当位		P3年度	R/任度	P5年度	R6年度	P7年度
				平世						1
				%				50	58. 3	66. 7
			率(済箇所数/必要箇所	/0		33. 3	41. 7			
実績					実績					

		財源内訳	単位	R3年度(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度	(目標)	R6年度	(目標)	R7年度(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0		0	0			0		0
		一般財源 千円 事業費計(A) 千円			147, 400		0		0		0		0
	事				147, 400		0		0		0		0
	業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	費	事業費の											
入	貝												
量													
			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	人工		3		3		0		0		0
	件費	人件費計(B) 千円 21,981		21, 981		21, 861		0	0		0		
	トーク	タルコスト (A) + (B)	千円		169, 381		21, 861		0		0		0

事務事業名	浄水場等運転管理業務委託事務	本年度担当課	水道課
尹衍尹未 石 		前年度担当課	水道計画係

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	水道の経験、技術を持った職員が退職、人事異動で水道の現場を離れ、技術力の低下が懸念 された。適性な管理を行うため、民間の技術力を導入し平成22年度から事業を開始、令和4 年度から5年間の業務委託を継続している。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・	平成28年度から群馬県太田市、館林市、みどり市ほか5町が参加した群馬県東部水道企業団
県などの法令等、社会情勢など)は	の事業が開始された。
事務事業の開始時期と比べてどのように	
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	本事業についての要望はなかったが、開始時期について質問があった。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

(1) 的干及の計画相条に対する数十 &	
前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持(従来通り実施)	現状維持

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 予切予末の予及計画【いにい】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	
	⑧取組結果の理由		⑨事務事業の成果向上余地
			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容

	(-	1)事務署	事業の評値	西結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3)改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
目					*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
標達成	中		0			
度	小					
		大 中 小				
		成	果向上余	地		

					77-1	DTAL	ハンハン				
車数	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	配力	く管維	掛管	曾理事業(北部営業		本年度担当課	水道課			
争的	争未有									前年度担当課	水道課
	基本目標	05	決適(こよ	り安全で安心して			新規・継続	継続事業		
政策	政策	02 1	主みり	やすり	ハ快適なまちづく			実施計画・一般	一般事業		
体系	施策	02	安全 つ	で安に	定した水の供給と		事	市単独・国県補	市単独事業		
	基本事業	01 5	安全 つ	で安ィ	心な水道水の安定		業	任意・義務	任意的事業		
予算	会計	款	項	目		予算事	業名		区	実施方法	直営
科目 水道 XX XX XX 配水管維持管理事業(北部営業所) 分 事業分類										事業分類	施設維持管理事業
事業計画 単年度繰り返し 事業期間 平成17年度 ~											該当なし
事業計画 単年及繰り返し 事業期间 十成17年及 ~ 総合戦略 総合戦略											該当なし
根拠	根拠法令・条例等 水道法										

①手段 (事務事業の主な活動内容を記入します。)		1. 事務事業の現状把握【DO】								
事業根要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方) 本事業は、平成17年度の市町合併以降、継続して行っている。水道施設の維持管理業務を民間委託した平成25年4月以降は、葛生営業所と田沼営業所を統合し北部営業所と、旧田沼地区及び旧葛生地区における。北区域末端の水質検査・配水管や一次側給水管の漏水点検及び修繕等を行うた。 生地区における、配入区域末端の水質検査・配水管や一次側給水管の漏水点検及び修繕等を行うた。 生地区における、配入区域末端の水質検査・配水管や一次側給水管の漏水点検及び修繕等を行うま業。 日標	_	(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標								
本事業は、平成17年度の市町合併以降、継続して 行つている。水道施設の維持管理業務を民間委託 した平成25年4月以降は、萬生尊業所と田田沼地医及び旧葛 生地区における、配水区域末端の水質検査・配水 管や一次側給水管の漏水点検及び修繕等を行う事 業。	ľ		A 1	/				·		
行っている。水道施設の維持管理業務を民間委託 した平成25年4月以降は、葛生営業所と田沼営業 (記水管や一次側給水管の漏水点検及び修繕等を行った。					(令和4	年度に行	った主な	活動内容	!)	
した平成25年4月以降は、葛生営業所と田沼営業所を研えられた。										
新を統合し北部営業所とし、旧田沼地区及び旧葛生地区における、配水区域末端の水質検査・配水管や一次側給水管の漏水点検及び修繕等を行う事業。 活動指標			<u> </u>		レ上や・	TL ッドルケッギ				
生地区における、配水区域末端の水質検査・配水管や一次側給水管の漏水点検及び修繕等を行う事業。 活動指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標)				いかった	下 只快,	及び修繕				
管や一次側給水管の漏水点検及び修繕等を行う事業。 活動指標			4 5 11 7 1 co							
業。										
日本の			マチェナド・1本		ж л	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
②対象 (この事務事業は誰・何を対象としていますか?) 北部営業所管内の、各浄水場及び配水場、並びに、配水管及び一次側給水管。 対象指標 単位 (実績) (実績) (実績) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) (目標) ③意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?) 名家庭に安全な水を確実に届ける。 成果指標 単位 R3年度 R5年度 R6年度 R7年度 R6年度 R7年度 R7年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3年度 R3					. –	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
北部営業所管内の、各浄水場及び配水場、並びに 、配水管及び一次側給水管。			漏水修理件数(配・給水	管)	件	138	157	150	150	150
北部営業所管内の、各浄水場及び配水場、並びに 、配水管及び一次側給水管。										
北部営業所管内の、各浄水場及び配水場、並びに 、配水管及び一次側給水管。	ŀ		11.0							
R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R7年度		31111 THE 11 THE 1	(? ימ			D0 	D4 ====	DC 4- d-	D0 	D7 6- 6-
配水管の延長 Km 311.1 311.9 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 312 31			対象指標		単位					
3意図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?) 各家庭に安全な水を確実に届ける。		,	配水管の延長		Km					
的 ③息図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですが?) 名家庭に安全な水を確実に届ける。 成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 編水が原因で給水管に影響があった箇所 濁りの苦情件数 目標 0 0 0 度積 3 2 0 0 0 度積 3 2 0 0 0 度積 3 2 0 0 度積 3 2 0 0 0			此小百00年以		MII	011.1	011.0	012	012	012
的 ③息図 (この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですが?) 名家庭に安全な水を確実に届ける。 成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 編水が原因で給水管に影響があった箇所 濁りの苦情件数 目標 0 0 0 度積 3 2 0 0 0 度積 3 2 0 0 0 度積 3 2 0 0 度積 3 2 0 0 0	١.									
A 家庭に安全な水を催実に届ける。 成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 R			:状態にしたいのですか?	')						
影響があった箇所 濁りの苦情件数 実績 件 実績 1 2 4結果(どのような結果に結びつけますか?) 上位成果指標 老朽管更新延長(単年 度) 単位 km R3年度 目標 2 R5年度 85年度 85年度 86年度 87年度 87年度 87年度	ľ	名家庭に安全な水を確実に届ける。	成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
影響があった箇所 濁りの苦情件数 実績 件 実績 1 2 4結果(どのような結果に結びつけますか?) 上位成果指標 老朽管更新延長(単年 度) 単位 km R3年度 目標 2 R5年度 85年度 85年度 86年度 87年度 87年度			漏水が原因で給水管に	//r =r	目標	0	0			
(4) 信果(どのような結果に結びつけますか?) 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 老朽管更新延長(単年度) 大大大学 大大学 大大			影響があった箇所	固川	実績	1	2			
④結果(どのような結果に結びつけますか?) 安全で安心な水道水が提供される。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 老朽管更新延長(単年度) 大田で東新延長(単年度) 大田で東京とより			濁りの苦情件数	件	目標					
安全で安心な水道水が提供される。 上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R5年度 R6年度 R7年度 老朽管更新延長(単年度) km 目標 2 3.2 2.9 2.7 3 実績 2.4 2.1 2.1 3.2 2.7 3	L			- ' '	実績	3	2			
上位成果指標 単位 R3年度 R4年度 R6年度 R7年度 老朽管更新延長(単年度) km 目標 2 3.2 2.9 2.7 3 実績 2.4 2.1 3.1	1	O THE TEXT OF THE								
度) 実績 2.4 2.1		安全で安心な水道水が提供される。	上位成果指標	単位		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
				km				2. 9	2. 7	3
			度)	MIII		2. 4	2. 1			
実績	L				美績					

		財源内訳	単位	R3年度	(実績)	R 4 年度	(実績)	R5年度(目標)	R6年度	(目標)	R7年度	(目標)
		国庫支出金	千円		0		0		0		0		0
		県支出金	千円		0		0		0		0		0
		地方債	千円		0		0		0		0		0
		その他	千円		0	•••••	0		0		0		0
		一般財源	千円		0	0		0			0		0
	車	事業費計(A)	千円		0		0		0		0		0
	事業			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投	未	事業費の											
入	貝												
量													
			千円										
		内訳											
	싰	職員従事工数	É事工数 人工 0			2		0		0		0	
	骨費	人件費計(B)	千円		0		14, 574		0		0		0
	トータルコスト (A) + (B)		千円		0		14, 574		0		0	0	

事務事業名	配水管維持管理事業(北部営業所)	本年度担当課	水道課
争伤争未 有		前年度担当課	水道課

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、 どのようなきっかけで開始しましたか?	平成17年度の市町合併以降、継続して行っている事業であり、水道施設の維持管理業務を民間委託した平成25年4月以降は、葛生営業所と田沼営業所を統合し北部営業所として実施している。
	高度成長期に布設された配水管が更新時期を迎えているが、人口減少に伴う水需要の減少等
県などの法令等、社会情勢など)は	┃により収益も減少しており、経営については厳しい状況に直面しいる。その為、事業費の抑┃
事務事業の開始時期と比べてどのように	制を図る必要があるが、維持管理及び修繕費用の増大が課題となっている。
変化していますか?	
③この事務事業に対して、当該年度中、	水の安定供給と安全性(水質)についての要望が高まっている。
関係者(市民、議会、事務事業対象者)	
からどのような意見・要望がありますか?	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

	· / III (A. · III E. III		
前年度の評価結果 現状維持(従来通り実施)		評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組	

2. 事務事業の事後評価【Check】

2. 予切予末の予及計画【いだい】			
①政策体系の整合性	②実施主体の妥当性	③対象・意図の妥当性	④事業費・人件費の削減余地
結びついている	市でなければできない	妥当である	削減の余地はない
⑤類似事務事業との統合・連携の可能性	類似事務事業の名称	⑥成果向上余地前年度評価結果	⑦左記に対する取組結果
類似事務事業はない		成果向上余地がない	向上しなかった
⑧取組結果の理由			⑨事務事業の成果向上余地
			成果向上余地がない
⑩A表の成果指標の目標が達成	できた理由、できなかった理由	⑪目標達成に向けて	必要となる取組内容
広範囲を最低限の職員数で賄って いることから、今以上の成果向上	おり、業務改善等も十分に行って は大変困難である。		

_	, <u> </u>	計画相关の応指とう及び分間は 【AOCTON】				
	(1)事務事業の評価結果			価結果	(2) 今後の事務事業の方向性	(3) 改革·改善を実現するうえで解決すべき 課題(壁)とその解決策
	大				現状維持(従来通り実施)	
I	∄L				*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。	
成度	達 中 戊		0			
	小					
		大	中	小		
		成果向上余地		地		